様式第二号の八（第八条の四の五関係）　　（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2023年4月28日

福山市長　　様

提出者

住所　　広島県府中市元町77-1

氏名　　株式会社北川鉄工所　代表取締役　北川祐治

（法人にあっては，名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0847-45-4560

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき，産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので，提出します。

事業場の名称	株式会社　北川鉄工所　福山工場
事業場の所在地	広島県福山市駅家町法成寺１６１３－１０
計画期間	２０２３年４月１日～２０２４年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	**別紙１，２のとおり**
①事業の種類	銑鉄鋳物製造業
②事業の規模	３，９１６百万円
③従業員数	１１３名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	鉱さい⇒セメント原料、再生利用、路盤材原料、埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別紙１，２のとおり
（管理体制図）	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別紙１，２のとおり		
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉱さい	
	排出量	1712 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉱さい	
	排出量	1812 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項	別紙１，２のとおり
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 鉱さい：リサイクル、再生利用
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 鉱さい：リサイクル、再生利用

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			別紙１，２のとおり
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			別紙１，２のとおり
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			別紙１，２のとおり
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			別紙１，２のとおり
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	1784 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	200 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1784 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

	②計画	【目標】	別紙１，２のとおり	
		産業廃棄物の種類	鉱さい	
		全処理委託量	1884 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	198 t	t
		再生利用業者への処理委託量	1884 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は，以下に従って記入すること。

(1)①欄には，日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には，製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績），建設業の場合における元請完成工事高
（前年度実績），医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるよ　うな前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には，当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は，委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には，産業廃棄物の種類ごとに，自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と，自ら中間処理を行うことによって減量した量について，前年度の実績，目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には，産業廃棄物の種類ごとに，全処理委託量を記入するほか，その内数として，優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量，処理業者への再生利用委託量，認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について，前年度実績，目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは，当該欄に「別紙のとおり」と記入し，当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また，産業廃棄物の種類が３以上あるときは，前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し，当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また，それぞれの欄に記入すべき事項がないときは，「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙1（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）
現状：前年度（2022年度）実績量
計画：今年度（2023年度）計画量

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量（前年度実績値の①）		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の②+⑧）		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の⑤）		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量（前年度実績値の⑦）		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の③+⑨）		全処理委託量（前年度実績値の⑩）		優良認定処理業者への処理委託量（前年度実績値の⑪）		再生利用業者への処理委託量（前年度実績値の⑫）		認定熱回収業者への処理委託量（前年度実績値の⑬）		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量（前年度実績値の⑭）	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥																				
廃油	4	4									4	4			4	4				
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	54	53									54	53	54	53	54	53				
紙くず																				
木くず	7	7									7	7			7	7				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず																				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	7	7									7	7			7	7				
鉱さい	1712	1813									1712	1813	146	145	1712	1813				
がれき類																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
合計	1784	1884	0	0	0	0	0	0	0	0	1784	1884	200	198	1784	1884	0	0	0	0

別紙２（廃棄物処理法−産業廃棄物処理計画書）

１　当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	銑鉄鋳物製造業
②事業の規模	売上高　３，９１６百万円
③従業員数	１１３名
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	鉱さい⇒セメント原料、再生利用、路盤材原料

２　産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等，別紙を参照）

３　産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組）不良率の低減、原材料の配合の見直し
②計画	（今後実施する予定の取組）不良率の更なる低減、原材料の最適な配合割合への取組み

４　産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）鉱さい⇒ジェットパック車またはフレコン取りを行い、それぞれセメント原料、再生利用、路盤材原料へそれぞれ分別し処分業者に委託。また埋立処分する鉱さいについてはマザー工場の下川辺工場に移して埋立処分場に運んでいる
②計画	（今後，分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）特に変更無し

5　自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組）
②計画	（今後実施する予定の取組）

6　自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

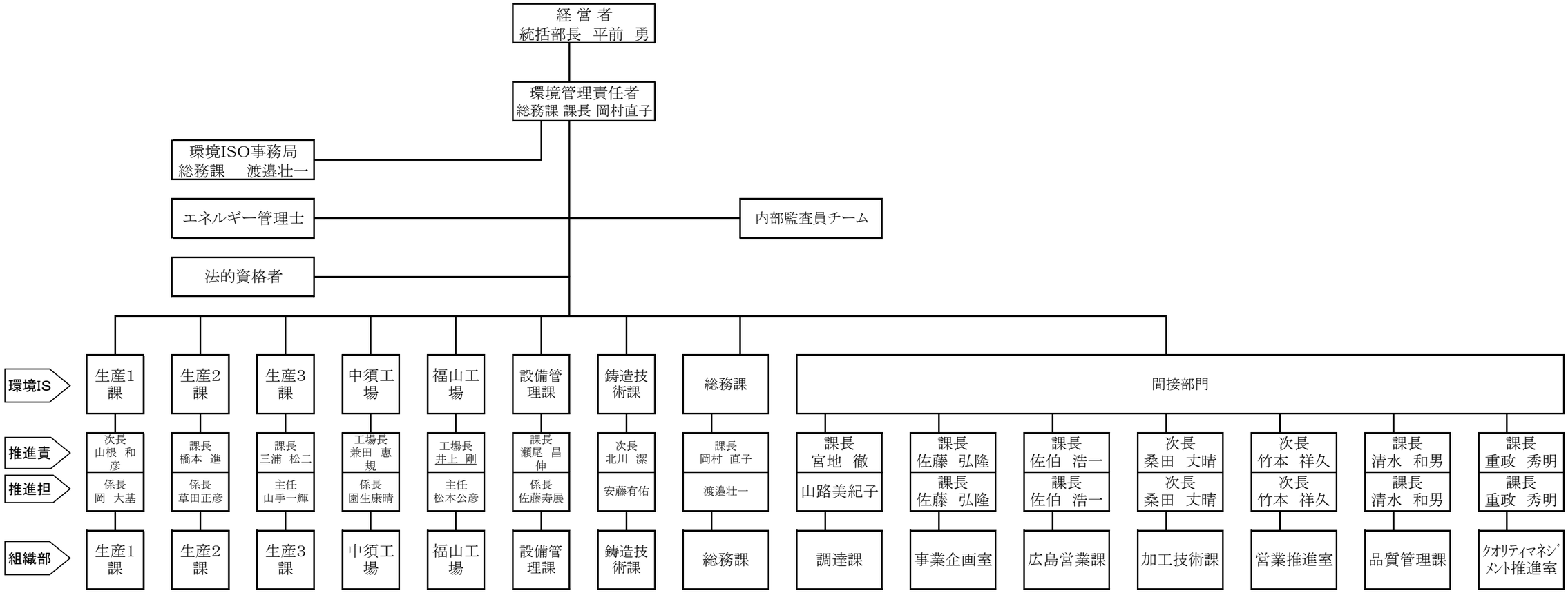
①現状	（これまでに実施した取組）
②計画	（今後実施する予定の取組）

7　自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組）
②計画	（今後実施する予定の取組）

8　産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組）埋立処分する鉱さいについて、製品として再利用できる業者を探して取引を開始
②計画	（今後実施する予定の取組）埋立処分する鉱さいについて、製品として再利用できる業者を探して取引を開始

管理体制図の例

ISO14001推進組織図